

3 実技講座の開催

| | 講座名 | 期日 | 講師 | 受講者 |
|------------|-----------------|------------|---------------------|--------|
| 実技講座 | 裸婦を描く | 5/12~6/9 | 久家三夫(画) | 10名 |
| | 漆によるモダン・デザイン | 9/14~9/28 | 坂本朝夫(坂本乙造商店) | 6名 |
| | 銅版画の現代的表現 | 11/9~11/24 | 池田良二(武蔵野美術大学教授) | 15名 |
| | ゴムでつくる、やわらかオブジェ | 2/8~2/23 | 高浜幹(造形作家) | 8名 |
| 技法講座 | 絵の具を作って描く | 7/13・14 | 関根秀樹(和光大学講師) | 15名 |
| | スタンドグラスで作る壁かけ | 8/31・9/1 | 相川多嘉子(スタンドグラス作家) | 15名 |
| | テンペラと油彩の混合技法 | 10/26・27 | 大矢英雄(画家) | 15名 |
| 親子美術教室 | 絵本を作ろう | 7/7 | 富田牧子(折久美子ルリユール工房講師) | 9組19名 |
| | 音の出るかたちを見つけよう | 8/4 | 加茂博(造形作家) | 9組19名 |
| | 木でつくる、動くおもちゃ | 12/8 | 内藤寛(郡山女子短期大学部助教授) | 11組23名 |
| わんぱくミュージアム | アートなこいのぼり | 5/5 | 真柴毅(当館学芸員) | 15名 |
| | フロッタージュッてなあに? | 6/22 | 真柴毅(当館学芸員) | 21名 |
| | イカダをつくってあそぼう! | 8/18 | 真柴毅(当館学芸員) | 10名 |
| | 和紙でお面をつくろう! | 1/25 | 久慈伸一(当館学芸員) | 15名 |
| | ゆらゆらオモチャをつくろう! | 3/8 | 久慈伸一(当館学芸員) | 7名 |

受講者合計：213名

4 美術鑑賞講座

| | 講座名 | 期日 | 担当学芸員 | 聴講者数 |
|---|-----------------------------|-------|-------|------|
| ① | 後期印象派-セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン | 5/11 | 吉村 有子 | 45名 |
| ② | 世紀末の美術-モロー、ルドン、クリムト | 5/25 | 吉村 有子 | 33名 |
| ③ | 大きな転換-マチス、ピカソ、カンディンスキー | 6/8 | 荒木 康子 | 28名 |
| ④ | 革命の時代-デュシャン、ダリ、モンドリアン | 6/22 | 荒木 康子 | 20名 |
| ⑤ | 抽象絵画の歩き方 | 10/12 | 宮武 弘 | 15名 |
| ⑥ | 真贋譚(ほんものにせものものがたり) | 10/26 | 堀 宜雄 | 15名 |
| ⑦ | 近代日本美術とフランス-ロダン、ルノワール、ヴラマンク | 2/8 | 早川 博明 | 10名 |
| ⑧ | 干支と美術 | 2/22 | 佐治ゆかり | 7名 |

合計：173名

5 ギャラリートーク

企画展示室において会期中の2回、1時間程度の作品解説。

| 展覧会名 | 期日 | 担当学芸員 | 聴講者数 |
|-------------------|-----------|-------|------|
| ① 大英博物館 肉筆浮世絵名品展 | 5/10・5/18 | 増渕・荒木 | 60名 |
| ② ふくしまの美術-昭和のあゆみ展 | 6/14・6/29 | 堀・久慈 | 40名 |
| ③ アメリカン・モダンの旗手たち展 | 7/26・8/3 | 早川・真柴 | 30名 |
| ④ 抽象絵画の創造力展 | 9/20・10/5 | 宮武・佐治 | 30名 |
| ⑤ 生誕120年記念ヴラマンク展 | 11/8・16 | 吉村・早川 | 70名 |
| ⑥ 生誕100年 村山槐多展 | 2/28・3/15 | 伊藤・宮武 | 70名 |

合計300名

6 美術館への年賀状展

新春恒例の事業として、おなじみになった年賀状展も12回目を数えた。県内の小・中学生から寄せられた心のこもった手作りの年賀状をすべてエントランスホールに展示した。

・会期：平成8年1月10日(金)~31日(金)

・応募点数：小学生199点、中学生31点、学年不明等31点

合計261点

7 館内解説

(1) 団体解説

学校教育や公民館等の社会教育活動の活発化に伴って、団体で美術館を訪れる機会も増えてきている。そのほとんどが館内の案内を要望するため、学芸員が交代で対応している。内容は、当館の概要及び代表的な収蔵品の解説、常設展並びに企画展の解説案内が中心である。

(2) 質問電話への対応

当館では、展示室の各所に質問電話を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に答えている。

質問電話の使用は簡単で学芸室と直結しているため、観覧者の利用は多く、素早い対応が可能である。

8 映像資料

(1) 映像資料点数

(平成9年3月31日現在)

| | |
|----------------|-------|
| 自主制作ビデオテープ | 37本 |
| 購入・受贈ビデオテープ | 62本 |
| 購入・受贈スライド、フィルム | 11セット |
| 16mm映画フィルム | 4本 |